

【ワークショップのテーマ】

中京圏における道路復旧優先順位の検討
—生活復旧と経済復旧の両立に向けて—

【実施日】：2020年1月24日

【開催場所】：名古屋大学減災館

【参加機関】：行政：8機関 公的機関：3機関 企業：10社、計21機関 28名

【概要】

行政・公的機関及び、企業の産官の研究協力機関の参加のもと、経済復旧の目線から、それぞれの参加企業が発災後に速やかに経済活動を再開する為に、優先して復旧すべき道路は、「どの路線のどの区間なのか？」など、具体的に確認しながら、中部圏において、どのように復旧の優先順位を考え、ポスト中部版くしの歯作戦後の道路復旧を、いかに進めて行くべきか、行政・公的機関も含めた参加者間で意見交換を行った。

【当日の様子】

●ワークショップ全体の様子



行政・公的機関・企業の21機関28名が参加

【まとめ】

経済や道路の復旧に対する個社や行政・公的機関の考え方を知るとともに、参加された研究協力機関同士が活発に意見交換をすることもできた。今回出された意見を整理した上で、発災後の経済復旧を速やかに行うための、道路復旧の具体的な方法について、引き続き協力機関との意見交換の場を設け、検討を行う予定である。